

山梨大学医学部附属病院 [地域医療連携だより]

# パートナー

2023  
vol.13

令和5年10月発行

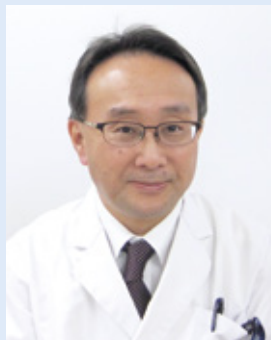


通院治療センターが  
新しくなりました。



通院治療センタースタッフ

# 通院治療センターが明るく広くなりました。



通院治療センター長  
桐戸 敬太

がんゲノム医療の臨床実装に伴う適切な治療薬の選択の機会の増加、また抗体薬や免疫チェックポイント阻害薬などの新たな治療薬の登場などにより、がん治療における薬物療法の役割は飛躍的に上昇しています。このニーズに応えるべく、本院では2023年4月に通院治療センターを16床から27床に増床いたしました。また、抗がん剤調整室と直結した構造とすることで、薬剤調整から患者さんへの投与に至る流れをより円滑にいたしました。看護ステーションもフロアの中央に島型に配置することにより、効率的かつ全周的な対応を可能とする構造となっています。フロア全体も明るい基調の色合いで、利用される患者さんから好評を得ています。当センターは、年間で延べ1万人の患者さんの化学療法に対応する計画です。



待合室



受付



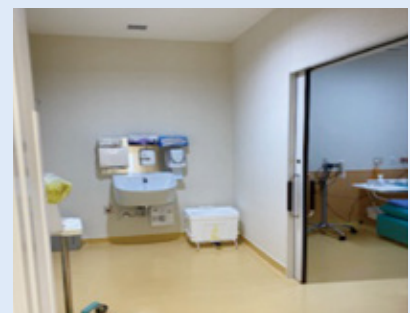
治療室内部



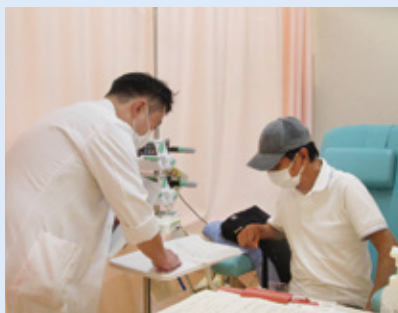
リクライニングチェア



アーム式テレビとスマートポンプ



感染対策のための治療室



薬剤師指導風景



面談室での薬剤師の説明



薬剤調製室での作業風景



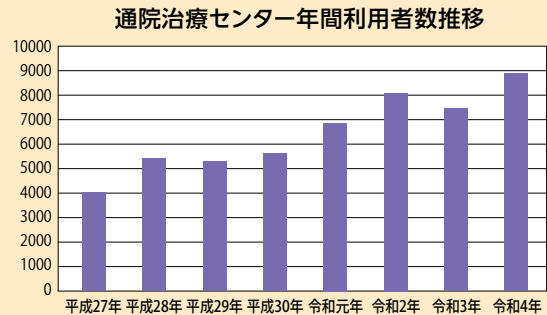
# 新しい通院治療センター稼働。



看護師長  
大芝 まゆみ

通院治療センターの利用者は、毎年1000件程度ずつ増加している状況でした。これを受け、令和5年4月よりセンターを移転、増床し、適切な治療が行えよう環境を整備しました。

移転において重要視したのは、患者さんの安心と安全です。人材では、専任の医師や薬剤師、看護師を配置し、当院医療支援課から受付サポートを受け、多職種が連携した体制をとっています。



病院施設では、これまでセンター内に設置されていなかった患者指導を行う面談室や治療中でも曝露対策ができるよう専用のトイレを設けました。また、新型コロナウイルス感染症での経験を踏まえ、感染症対策に配慮した個室も完備しました。

さらに看護師の教育面では、化学療法の知識を有する「ケモナース」資格制度を設立し、院内での看護師の抗がん剤穿刺に先駆的に取り組んでいます。その他にも緊急事態や災害時に備えた勉強会の実施や増床分をカバーするための看護体制の見直しなど様々な対策にスタッフと共に取り組んでいます。今後は、自宅療養中の食事などの相談についてもスムーズに対応できるよう栄養士とも連携を検討しています。当院を利用する患者さんが安心して療養できるようスタッフ一同尽力しております。

さらに看護師の教育面では、化学療法の知識を有する「ケモナース」資格制度を設立し、院内での看護師の抗がん剤穿刺に先駆的に取り組んでいます。その他にも緊急事態や災害時に備えた勉強会の実施や増床分をカバーするための看護体制の見直しなど様々な対策にスタッフと共に取り組んでいます。今後は、自宅療養中の食事などの相談についてもスムーズに対応できるよう栄養士とも連携を検討しています。当院を利用する患者さんが安心して療養できるようスタッフ一同尽力しております。

**末梢神経障害の症状とは？**

腫瘍による末梢神経障害とは・・・  
感覚神経・運動神経の末梢神経によって障害され、神経の働きが正しく伝えられなくなります。それによって様々な症状があらわれます。

**感覚障害**

- ピリピリとしびれる
- ジンジン痛い
- 感覚がない
- 手足が乾くまぼろしの感じ

**運動神経**

- 手や足の力が入らない
- ボタンがかけづらい
- はしや物が持ちにくい
- 歩きづらい
- 文字が書きにくい

※現在のところ末梢神経障害の有効な治療法ははっきりとわかっていません。  
※症状をやわらげるお薬（薬方など）を使用することもあります。  
※あらわれる症状や時期は患者さんによって異なりますが、新しい症状を察したら、医師や看護師に相談してください。

※しびれは100%防ぐ方法はないものの日常生活に支障をきたすことがあります  
※しびれが強く出たら対応していただくまでには時間がかかります！

そこで...

通院治療センターでは治療開始と同時に感染防止対策として、**サージカルグローブ**の着用を行っています。

サージカルグローブをつける目的とは・・・

点検の際中に自分の手のサイズより少し小さいサイズのサージカルグローブを2重につけてもらうことで、手の内血圧を軽減させ感染の発生を抑制しようとするのが目的です。

※1回には着圧ソックスなど少しきつめの靴下を着用してもらっています。

※手術のサイズが異なる場合チームセンターに他の種類の手袋や指輪の着用など自分の手より小さいもので実際に圧迫感を感じるものをお断りします。

※薬指で刺さっているポイント等の着圧ソックスや弾性ストッキング、まつめの靴下も着用してもらっています。



症状マネジメントに関する指導のための情報収集を行い、オリジナルパンフレットを使ったわかりやすい説明を心がけています。



看護補助者も曝露対策



リーダー2名体制でレジメン確認



スタッフはケモナース資格を取得し、安全で適切な抗がん剤投与を実践しています。

ケモナースの証のシール

副作用や治療内容がチェックできる患者ノート



セミナー・講演会等のお知らせ			対象：医療従事者	
開催名	主催	開催日	開催場所	お問合せ先 (内線番号)
第26回 山梨大学整形外科セミナー	山梨大学整形外科科学講座	2023年10月28日	ジットプラザ	内線 2348
第6回 山梨県遺伝医療連絡会議 「がんゲノムの基礎知識」	山梨県、山梨大学大学院臨床遺伝学講座、 山梨大学医学部附属病院遺伝子疾患診療センター	2023年11月14日	オンライン	内線 2465
第80回山梨県眼科集談会	山梨県眼科医会、山梨大学医学部眼科学講座 他 共催	2023年11月18日	オンライン ホテル談露館	内線 2372

※上記セミナー・講演会へのお問合せは TEL:055-273-1111 (代表)へお掛けのうえ、お問合せ先の内線番号をお伝えください。

## 【紹介患者予約システム】がんセンター初診予約の運用について

令和5年4月より地域医療機関よりご紹介いただいた、がん患者さんのWEB予約(がんセンター初診外来)が「紹介患者予約システム」において運用開始となりました。すでにWEB予約利用登録済みの医療機関は、一般の初診予約と同様にごがんセンター初診外来のWEB予約が可能です。

### ●地域医療連携登録医に未登録の医療機関

ご登録後に当院発行のIDパスワードにより初期情報をご登録いただきWEB予約利用が可能となります。

### ●地域医療連携登録医に登録済みの医療機関

WEB予約利用の初期情報未登録の場合は、当院より発行されましたIDパスワードにより初期情報をご登録いただきますとWEB予約利用が可能となります。

**ぜひ、この機会にご登録いただきWEB予約をご活用ください。**

予約システムの  
ご活用はこちらから

まず地域医療連携登録医へご登録!  
ご質問・分からない時は  
TEL:055-273-9815



①QRコードの読み取りまたは、URLにアクセス

②地域医療連携施設登録申請書に回答  
⇒申請書を送信

③当院からIDとパスワード送付(郵送)

④発行されたID・パスワードにより初期情報登録

URL→<https://forms.gle/S9SzcHNadDwqWtNB7>

山梨大学医学部附属病院

循環器疾患の救急要請はこちら

**循環器救急センター**

(直通)

**055-273-1119**

脳神経疾患の救急要請はこちら

**脳神経疾患ホットライン**

(直通)

**090-1882-6786**

【発行】

山梨大学医学部附属病院 総合支援部 地域医療連携室 〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110 TEL:055-273-9815